

- (8) 芸術文化振興のための予算設置をすること。
- (9) 文化財の保護に必要な経費を確保すること。
- 【保健体育関係】
- (1) 学校給食実施に関する経費の予算化をはかること。
- (2) 要保護・準要保護児童生徒援助費補助金のうち、医療費補助金の予算化をはかること。
- (3) 学校環境衛生の施設設備等についての予算化をはかること。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の活動に対する経費を予算化されたい。
- (5) 学校における「校長および教員」以外の市町村およびPTA等の雇用する職員の結核定期健康診断等に要する経費を必ず予算に計上すること。
- (6) 児童・生徒の寄付虫卵検査に要する経費（年2回分）の予算化をはかられたい。
- (7) 修学旅行前の検便に要する経費の予算化をはかられたい。（1人1回100円）
- (8) 交通安全教育センター設置のための予算化をはかられたい。
- (9) 交通安全指導用教具購入に要する経費について予算化をはかられたい。
- (10) 保健室の備品等の整備費を予算化されたい。
- (11) 交通安全災害共済掛金の額を予算化すること。
- (12) へき地学校保健管理に要する経費について予算化されたい。

※ 本年度市町村教育委員会育成強化のために作成した資料

- ① 昭和44年度市町村教育費の実態・昭和46年度予算編成に対する要望事項
- ② 市町村教委事務局職員研修会資料
- ③ 市町村教育長研修会資料
- ④ 市町村教育事務共同処理に関する研究資料

第10節 職員団体との話し合い

本年度における職員団体との話し合いのおもなものは、つぎのとおりである。

1. 昭和45年4月28日 福島県立高等学校教員組合
16:00～17:15 教育委員会室
教育次長他17名
県立高教組中央執行委員長 佐藤 正外7名
- 内 容
- ① 基本給の引き上げについて
 - ② 諸手当の支給について
 - ③ 労働条件の改善について
 - ④ 旅費の支給について
 - ⑤ 教職員の定数増について
 - ⑥ 施設設備の拡充について
 - ⑦ 父母負担の軽減について

2. 昭和45年7月1日 福島県高等学校教職員組合
10:00～11:30 教育委員会室
教育長他18名
高教組執行委員長 日高武夫他12名

○内 容

- ① 高校教職員を専門職として位置づけ、抜本的給与改善をはかられたい。当面号俸引上げ又は昇給期間短縮等の措置により、高原型給与体系に近ずけること。
- ② 実習助手のうち、二級普通免許状以上の免許を取得した者に対し、優遇措置を講じられたい。
- ③ 教職員の生徒引率用務による旅行についての旅費の調整等に関する要項を撤廃されたい。
- ④ 教職員による宿日直を廃止されたい。

3. 昭和45年7月11日 福島県教職員組合
10:00～正午 教育委員会室
教育長外16名
県教組中央執行委員長 斎藤峰夫他22名

○内 容

- ① 大巾賃上げに対する要求……………21項目
- ② 教職員の定数増に対する要求……………8項目
- ③ 教育予算増額並びに社会保障に対する要求……………10項目
- ④ 勤務労働条件に対する要求……………10項目

4. 昭和45年7月14日 福島県立高等学校教員組合
11:00～正午 教育委員会室
高校教育課長外5名
県立高教組中央執行委員長外6名

○内 容

（実習助手・現業職員関係）

- ① 給与の改善について
- ② 定数の確保と身分の安定について
- ③ 諸手当の新設について
- ④ 被服貸与制の改善について
- ⑤ その他

5. 昭和45年7月14日 福島県教職員組合
14:20～16:30 教育委員会室
義務教育課 古閑主幹外3名
青年部長外7名

○内 容

（青年部関係）

- ① 初任給を大巾に引上げること。
- ② 新採用者の赴任旅費を完全に支給すること。
- ③ へき地独身者、夫婦別居者への住宅手当を支給するとともに少なくとも月一度の帰省手当を支給されたい。
- ④ 結婚手当金5万円を支給されたい。
- ⑤ 共済、互助会の県補助金、特に結婚祝金の大幅増額、独身会員への給付内容を改善されたい。
- ⑥ 青年教師の生活権、教育権を尊重した民主的人事を実現されたい。……………（5項目）

6. 昭和46年10月16日 東北6県教組委員長